

事業計画書

(くすのき補助金)

<p>事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ 必要性</p>	<p>今年7月にほの園百貨店が閉店することが決まり、大きなお買いの中心がまた一つ減ることになり、またなかエリアにおいて、高層マンションが増えている。これら新築マンションの住民が近所の商店の魅力を知り、またなかを歩き回ってショッピングを楽しんだりするためには、本来買いたいもの楽しみの一部であった信頼でまじり店とのコミュニケーションやウィンドウショッピングの楽しさを再評価していただく必要がある。 またなかにはそのきっかけを与える効果があるので、勉強会を浜松、豊川、狩野の団体で行ったり、広報物の制作で発信力を高めることを目的とする。</p>																							
<p>事業内容</p>	<p>主な内容 実効性</p>	<p>過去6回開催し、2月に第7回も予定している豊橋またかみの発信力をさらに高めるため、近隣都市から各またかミメンバーを招集して勉強会を行いたい。同時に、市民の認知度を高めるべく広報物(ブックやのぼりなど)、HPの刷新をしたい。</p>																						
	<p>スケジュール 実効性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予定日</th> <th>予定内容</th> <th>予定会場</th> <th>参加者数見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>三遠またかミ勉強会</td> <td>豊橋市内</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>第8回豊橋またかミ開催</td> <td>市内各所</td> <td>500名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>全国またかミサミット</td> <td>岡崎市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>翌2月</td> <td>第9回豊橋またかミ開催</td> <td>市内各所</td> <td>500名</td> </tr> </tbody> </table>	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込	6月	三遠またかミ勉強会	豊橋市内	20名	8月	第8回豊橋またかミ開催	市内各所	500名	9月	全国またかミサミット	岡崎市		翌2月	第9回豊橋またかミ開催	市内各所	500名	<p>豊橋市内 市内各所 岡崎市 市内各所</p>	<p>20名 500名 500名</p>
	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込																				
	6月	三遠またかミ勉強会	豊橋市内	20名																				
8月	第8回豊橋またかミ開催	市内各所	500名																					
9月	全国またかミサミット	岡崎市																						
翌2月	第9回豊橋またかミ開催	市内各所	500名																					
<p>実施体制① (実施メンバー) 実効性</p>	<p>豊橋またかみの会 (協力:豊橋市またなか活性化課)</p>																							
<p>実施体制② (団体の特性) 専門性</p>	<p>勉強会をきっかけに、豊橋を中心とした三遠エリアの枠組みをつくり、コラボ企画や継続的な協力体制の構築を目指したい。</p>																							
<p>目新しさ エッジ 先駆性</p>	<p>現在ショッピングの中心にあるのは大型店やチェーン店、ネット通販であるが、便利な反面地元経済には貢献しないという側面がある。そのため地方都市においては日用品より特殊な需要を持つ商品も体験とともに販売することが求められている。 勉強会では同じ境遇にある都市で情報共有ができればと期待される(東三河で初)</p>																							
<p>市民(地域)への効果 公益性</p>	<p>当会は設立から4年を経て発展の時期にある。20年を超えて全国400地域に広まったまたかミはもはや安心のブランド力を持つ社会運動力となった。画一的なサービスでの会話のない買い物やスマホボタンを押すだけの通販からコミュニケーションは生まれない。会話からコミュニケーションが生まれ、互いへ寄り添うことができる。手軽な買い物の反面にある損なわれた価値は想像以上の大きいかもしれない。時には顔を見、時には交渉する買い物は生活の潤いを与えてくれる。</p>																							
<p>今後の取組 継続性</p>	<p>初の企画となる三遠またかミ勉強会は今後毎年1回行う予定であり、近隣地域との連携で生まれる知識の向上やアイデアの共有を活かし発信力を高めたい。 市民のまたかミ認知度がさらに進み、またなかを歩き、コミュニケーションを楽しみながら買い物をする層を経験を取り戻してもらいたい。</p>																							